

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	ふるさと団地再生事業	基礎交付	27,764,600	指標①	申請件数	120	件	H28.3	128	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・親元近居助成制度については、取り組みを継続しつつ、アンケート等を分析することにより申請者のニーズを把握し、より深化された。 ・ふるさと団地再生協議会を通じて、引き続き各地域での取組みを支援されたい。	事業の継続	子育て・介護等の共助を推進し、若年世代の流入・定住化をさらに進めるため、また、モデル地域における問題解決をさらに図るべく、事業を継続する。
				指標②	協議会の開催回数	2	回	H28.3	2					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
2	魅力創造事業	基礎交付	11,732,918	指標①	大阪駅周辺2箇所において、広告掲載延べ回数	5	週	H28.3	6	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・RESAS(地域経済分析システム)等の統計データを有効に活用し、交流人口の現状分析を踏まえ、ターゲットを絞ったシティブロモーションを展開されたい。 ・さらなる市の魅力の創造・発信に努め、新たな魅力を市内外へ発信されたい。	事業内容の見直し(改善)	都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力を発信するためのPR活動を引き続き行っていく。手法については27年度の取り組みを検証し、より効果の高い事業を実施する。また、市内外へのアンケート調査を実施し、これまでのシティブロモーションの取組みの検証と今後の事業展開についての検討を行う。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
3	商工振興事業	基礎交付	2,944,363	指標①	地域経済活性化事業提案件数	1	件	H28.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・今後さらなる商品開発につながるよう、産官学の連携を大いに活用し、事業を推進されたい。	事業の継続	しごとサポートセンターやNPOと連携して実施する若者の就労体験事業やNPOと連携して実施する女性の起業支援事業との関連性が強く、就労・起業から商品開発、事業拡大といった一連の事業の中で、連携による相乗効果が見込まれるため、事業を継続する。
				指標②	新商品開発申請件数	4	件	H28.3	4					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
4	文化振興事業	基礎交付	6,000,000	指標①	エントリー数	250	件	H28.3	191	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・事業の中止に留まらず、課題と対応を十分に検討し、様々な可能性を追求し、市の魅力の向上と文化振興に寄与する新たな施策を検討されたい。	事業の中止	一定の成果が見られたと考えるが、アーティストの選考、養成といったこれまでの事業の実施方法等を整理した上で、今後の施策展開を検討する。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
5	地域分権推進事業	基礎交付	32,913,000	指標①	コミュニティ組織が一括交付金を活用して実施する新規事業数	38	件	H28.3	29	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・川西市における地域力を最大限に活かしたまちづくりの根幹となる制度であり、引き続き、コミュニティ組織における取組みを支援された。	追加等更に発展させる	平成28年度は、残り5コミュニティ組織のうち、新たに4地域のコミュニティ組織が、同制度を活用した活動を展開する予定であり、新規事業数や参画団体数の増加が見込まれる。 また、コミュニティ組織を形成していなかった地域においても、同制度の開始を契機として、コミュニティ組織を形成し、地域分権制度の導入に向けた話し合いが進められているため、今後は地域の取組みの実現に向けて、市からの強力な支援を行っていく段階であると考えている。
				指標②	参画団体数	260	団体	H28.3	260					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
6	健康づくり推進事業	基礎交付	1,112,724	指標①	体操推進員養成者数	100	人	H28.3	22	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・今後、さらなる普及をめざし、保育所、幼稚園、小学校、中学校等での実施、さらに、地域においても、夏休みのラジオ体操の代わりに取り組むなど、多様な展開が期待される。 ・リーダーの育成などでも連携大学の協力の下、実施されたい。	追加等更に発展させる	「きんたくん健幸体操」の更なる普及啓発を図るべく、活動範囲を拡大し、幼稚園や保育所、高齢者の集いなどでも活動を展開するなど、子どもから高齢者までのあらゆる年齢層の方々が一層積極的に取り組めるように事業を展開するとともに、リーダーのスキルアップを図るため、随時講習会実施していく。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
7	若者政策推進事業	基礎交付	1,239,840	指標①	相談申込件数	130	件	H28.3	24	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・相談体制の充実はもとより、まずは若者本人が社会に必要とされていることに気づき、行動を起こせる仕組みと居場所づくりを検討されたい。	事業内容の見直し(改善)	実績を踏まえ相談窓口の開催回数について検討した結果、回数を削減(月4回→2回)した上で、広報の方法や再度相談できる体制、保護者を通じて本人に相談へ来るように促す仕組みを改めて検討する。
				指標②	居場所の参加人数	30	人	H28.3	0					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
8	男女共同参画推進事業	基礎交付	70,000	指標①	講座参加人数	50	人	H28.3	14	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・アンケート等によるニーズの把握については、同カレッジの対象者を明確にした上で詳細な分析を行い、参加しやすい開催日時等についても検討されたい。	追加等更に発展させる	男女共同参画社会の実現に向け、男性・女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する「(仮称)男女共同参画カレッジ」を本格的に開講し、内容の充実を図ることにより、女性の社会進出の促進を図る。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
				指標①	指標②	指標③	指標④	指標⑤						
9	母子保健推進事業	基礎交付	150,336	指標①	妊婦健診対象者数	1,180	人	H28.3	1,182	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・妊婦の経済的負担の軽減のみならず、母子保健に対する理解を深める工夫をすとも、母子の健康管理といった視点からも、子どもを生み育てやすい環境づくりの取組みとして、各子育て施策などと連携を図られたい。	事業の継続	妊婦健康診査費助成額の引き上げを行ったことで妊娠から出産までにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境整備の推進、出生者数の増加に繋げることを目標とし、引き続き助成事業を継続する。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
10	観光・住宅・結婚のPR媒体をクロスさせた女性を対象とするシティプロモーション事業	タイプ I	3,544,992	指標①	「ご当地愛フェイスブック*」登録者数	200	人	H28.3	63	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・フェイスブック等の媒体を活用して、シティプロモーションを展開する際には、閲覧者等の詳細のデータを分析し、的確にニーズを把握した上で、さらなる事業の展開を図られたい。	追加等更に発展させる	引き続き「ご当地愛フェイスブック」のシステムを活用し、市民等による市の魅力発信を行っていく。 また、市公式シティプロモーションサイトについても、メインターゲットである20～30代の女性が興味を持つコンテンツや、女性の活動支援につながる情報を充実させていく。
				指標②	じゃらんにより掲載店などへ来訪した人数	1店舗・施設あたり 100	人/月	H28.3	80					
				指標③	市公式シティプロモーションサイトへのアクセス数(前年度 3～5月 26,000アクセス)	40,000	アクセス(翌年度3～5月)	H28.5	32,924					
				指標④										
				指標⑤										